

ボランタリークレジット プラットフォーム クレジット発行機関等の 最新動向(2022 年 8 月)

2022 年 8 月 23 日

ボランタリークレジット信頼性確保に関して様々な動き

IC-VCM が CCP と評価枠組み案を発表

ボランタリークレジットの信頼性を確保するために設立された The Integrity Council Voluntary Carbon Market(IC-VCM)が、7 月 27 日にボランタリークレジットの質を確保するための原則、Core Carbon Principles(CCP)案と、CCP との適合性を評価する枠組みと手続き、Assessment Framework and Assessment Procedures(AF)案を発表した¹。この二つの案の発表と同時に、今後の作業予定も発表され、それによれば 9 月 27 日中(イギリス時間)まで一般からのコメントを受けつけ、その後、寄せられたコメントを踏まえて、今年、2022 年の第 4 四半期中に最終版が公表される予定となっている。

今年、3 月に発表された IC-VCM の作業計画では今年の第 3 四半期には CCP と AF を本格的に実施するために作業を行う予定となっていた。しかし、今回、発表された作業計画では、今年の第 4 四半期中に最終版が公表されるため、本格的な実施は、さらに後ろにずれ込むものと予想される。

この遅れは、先住民を代表する理事がなかなか決まらなかったことや、当初、共同議長を務めていたヒュー・シーリー氏が急逝したことなども影響していると思われるが、それ以外にも、IC-VCM の運営方針をめぐる内部で意見が対立していたとの情報もあり、運営方針を巡る内部での路線対立が、この遅れの要因となっていた可能性もある。

今回、発表された案では、CCP は、“carbon-crediting programs and different types of carbon credits”の評価のための指針の原則として利用される、と規定されている。その上で、「追加性」、「緩和活動の情報」、「ダブルカウントが行われないこと」、「永続性」、「クレジット発行機関のガバナンス」、「登録簿」、「確固とした独立した第三者による有効化と検証」、「確固とした排出削減量と吸収量の数量化」、「持続可能な発展への影響とセーフガード」、「ネットゼロ排出に向けた移行」などの原則が示されている。

¹ <https://icvcm.org/public-consultation/>

また、ボランタリークレジットを購入する企業の中には、クレジットの特徴(持続可能な発展への貢献など)に注目している企業も見られることから、個別のクレジットの特徴に関する情報の提供方法についても、提案がなされている。具体的には「緩和の活動の種類」、「6条のための認可」、「SDG への数量化された影響」、「適応に関する副次的な便益」などが挙げられている。

これらの原則について評価するための AF 案においては、詳細な基準案が示されており、IC-VCM は、この評価基準を、各クレジット発行機関からの自発的な申請に応じて適用するとの基本的な考え方を示している。ただし、公表情報を踏まえて独自に評価していく可能性についても、現時点では否定していない。この点については、一般からのコメントを踏まえて検討していくこととされており、AF の具体的な適用方法が、今後の論点となる可能性もある。

今後の検討作業が、今回、発表された作業計画通りに進むのか、さらに、策定された CCP と AF が、実際に、どのような形で実施されていくのか不確実な部分が残る。しかし、今回の案の発表により、IC-VCM が、ボランタリークレジットの信頼確保のための具体的な取組みの実施に向けて、ようやく、その第一歩を踏み出したことは間違いない。

IC-VCM における動き以外にも、ボランタリークレジットの質の問題に関連する動きが見られた。ボランタリークレジットの発行機関、VCS を運営する Verra は、8 月 8 日に、VCS が発行するクレジットの信頼性に疑問を呈した一連の報道に対して反論する声明を発表した²。ボランタリークレジットの信頼性に注目が集まる中、建設的な議論が求められているところである。

8 月のボランタリークレジット発行機関などの動向

国名/団体名	ニュースヘッドライン	出所	日付
パプアニューギニア	パプアニューギニアの国立森林局、豪州企業が実施する REDD+プロジェクトに無効宣告	MayurResource プレスリリース	2022-07-21
国際	Integrity Council が VCM の Core Carbon Principles の草案を発表	The Integrity Council プレスリリース	2022-07-27
国際	6条4項監督機関第1回会合開催	UNFCCC プレ スリリース	2022-07-29
国際	Verra、VCS クレジットをトークン化するための厳しい KYC チェックを提案	Carbon Pulse	2022-08-03
日本	J クレジットにおける森林管理プロジェクトの制度改正、森林由来Jクレジットの創出拡大を狙う	経産省 林野庁	2022-08-05
国際	Verra が VCS クレジットの信頼性に疑問を呈した新聞記事に反論	Verra プレスリリース	2022-08-08

(文責) 小松 潔(日本エネルギー経済研究所)

(情報収集) 森本壮一(日本エネルギー経済研究所)

² <https://verra.org/nikkei-asias-half-truths-and-innuendo-undermine-climate-progress/>